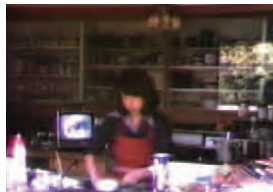


◆アジアの女性アーティスト展 映像特集

場所：あじびホール(8階) 入場無料

10月4日〔木〕 11:00- **A** / 14:00- **B**
10月5日〔金〕 11:00- **C** / 14:00- **D** / 16:00- **E**
10月6日〔土〕 11:00- **F** / 14:00- **G** / 16:00- **A**
10月7日〔日〕 11:00- **B** / 14:00- **C** / 16:00- **D**
10月8日〔祝〕 11:00- **E** / 14:00- **F** / 16:00- **G**



出光真子《主婦の一日》



ソン・ヒョンソク《Wozuhaus》



琴 仙姫《獣となりても》



ジェーン・ジン・カイスン《女と孤児と虎》



ヤスミン・コビール《ある解放》



グエン・チン・ティ
《再録画されたテープの編年史》



山城知佳子《オキナワTOURIST》



トリン・T・ミンハ《夜のうつろい》

上映プログラム

A 出光真子
96分
《Woman's House》13分40秒 1972年
《主婦の一日》9分50秒 1977年
《アムス パート2》19分40秒 1982年
《ざわめきの下で》10分50秒 1985年
《洋二、どうしたの?》18分 1987年
《清子の場合》24分20秒 1989年

B 出光真子
71分
《おんなのさくひん》11分 1973年
《At Any Place 4》12分30秒 1978年
《加恵 女の子でしょ!》47分20秒 1996年

C ソン・ヒョンスク
79分
《Wozuhaus》79分 2002年

D 琴 仙姫
88分
《獣となりても》18分 2005年
《異郷の空》70分 2005年

E ジェーン・ジン・カイスン
98分
《女と孤児と虎》98分 2005年

F ヤスミン・コビール
102分
《ある解放》38分 2003年
グエン・チン・ティ
《再録画されたテープの編年史》28分 2010年
山城知佳子
《オキナワTOURIST》22分 2004年
《あなたの声は私の喉を通った》7分 2009年
《沈む声、赤い息》7分 2010年

G トリン・T・ミンハ
72分
《夜のうつろい》72分 2010年

※作品はすべてDVDによる上映

アジアの女性アーティスト展 Women In-Between: Asian Women Artists 1984-2012

アジアをつなぐ—境界を生きる女たち 1984-2012

観覧料：一般1,000(800)円 高大生800(600)円 中学生以下無料

()内は20人以上の団体・前売り料金。この料金がアジアギャラリーの展示もご覧いただけます。
※次の方は無料になります。身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳の保有者本人と介護者1人、
特定疾患医療受給者証・先天性血液凝固因子障害等医療受給者証・小児慢性特定疾患医療受診券の保有者本人。
□前売り券販売 ローソンチケット(Lコード88791)、チケットぴあ(Pコード765-306)などで発売

Tickets: Adult ¥1,000(800) High School / College ¥800(600) Free for Junior High School and under
*() shows a price for an advanced ticket or an individual in a group of 20 or more.
* Includes admission to the permanent collection in Asia Gallery.

同時開催中のコレクション展 ※本展チケットでご覧いただけます

アジアギャラリーA
バリ今昔物語 7/5木-10/2火
活字をめぐる冒険—アートに見る本と文字 10/4木-12/25火

アジアギャラリーB
演じる人々—芝居・役者・大道芸 6/28木-9/18火
民衆／美術—版画と社会運動 9/20木-12/11火

交通案内

〔市営地下鉄〕 中洲川端駅 下車すぐ〔6番出口〕
〔西鉄バス〕 川端町博多駅前 下車すぐ
博多駅・博多アジア美術館前(ぐりーんバス)下車すぐ
〔車〕 太宰府方面から 都市高速千代ランプより 7分
北九州方面から 都市高速呉服町ランプより 5分

※リバレン地下駐車場(有料)へは、昭和通りの中央分離帯からお入りください。



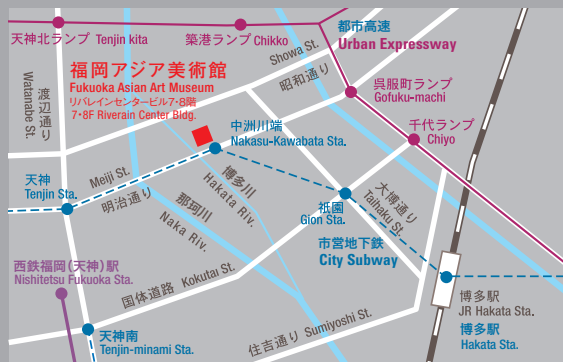
〒812-0027 福岡市博多区下川端町3-1 リバレンセンタービル7・8階
7・8F Riverain Center Bldg., 3-1 Shimokawabata-machi, Hakata-ku, Fukuoka, 812-0027 Japan
Tel: 092-263-1100 Fax: 092-263-1105 <http://faam.city.fukuoka.lg.jp/>

ミュージアムショップ
「宇宙堂 space」
展示会の出品
アーティストたちの
特別グッズを販売

FAAM CAFE
FUKUOKA ASIAN ART MUSEUM CAFE
REC COFFEE



ピナリー・サンビタック(タイ)
「おっぱい塔クッキング」との
コラボ・メニュー登場!
ストゥーパ・アイス 500円 他



[Artists]
[出品作家]
Aisha Khalid
アーイシャ・ハーリド
Alma Quinto
アルマ・キント
Amanda Heng
アマンダ・ヘン
Arahmaiani
アラフマヤーニ
Arpita Singh
アルピタ・シン
Brenda V. Fajardo
ブレンダ・ファハルド
Cao Fei
曹斐 ツァオ・フェイ
Dagvasambuu Uuriintuya
ダグヴァサンブー・ウリンツヤ
Eng Hwee Chu
エン・フヱウチュウ
Ha Cha Youn
ハ・チャヨン
Habiba Khan
ハビバ・ハーン
Hou Lulu Shur-Tzy
侯淑姿 ホウ・ルル・シュウズ
Idemitsu Mako
出光真子
Imelda Cajipe Endaya
イメルダ・カヒーペ＝エンダーヤ
Inoue Hiroko
井上廣子
Ishikawa Mao
石川真生
Ito Tari
イトー・タリー
Jane Jin Kaisen
ジェーン・ジン・カイスン
Jung Jungyeob
ジョン・ジョンヨブ
Kum Soni
琴仙姫 クム・ソニ
Le Hoang Bich Phuong
レー・ホアン・ビック・フオン
Lin Tianmiao
林天苗 リン・ティエンミャオ
Machida Kumi
町田久美
Munkhtsetseg Jalkhaajav
ムンフツェツェグ・ジャルハージャブ
Nalini Malani
ナリニ・マラニ
Nazlee Laila Mansur
ナズリー・ライラ・モンスール
Nge Lay
ニェ・レイ
Nguyen Thi Chau Giang
グエン・ティ・チャウ・ザン
Nguyen Trinh Thi
グエン・チン・ティ
Niloofer Chaman
ニルーフアル・チャマン
Pinaree Sanpitak
ピナリー・サンピタック
Sakata Kiyoko
阪田清子
Shahzia Sikander
シャージア・シカンダル
Shilpa Gupta
シルパ・グプタ
Shiota Chiharu
塩田千春
Song Hyun Sook
ソン・ヒョンスク
Trinh T. Minh-ha
トリン・T・ミンハ
Watabiki Nobuko
綿引展子
Yamashiro Chikako
山城知佳子
Yasmine Kabir
ヤスミン・コビール
Yee I-Lann
イー・イラン
Yeesoookyung
イースギョン
Yin Xiuzhen
尹秀珍 イン・シウゼン
Yun Suknam
ユン・ソクナム
Zarina Hashmi
ザリナ・ハンミ

アジアをつなぐ —境界を生きる女たち 1984-2012 Women In-Between: Asian Women Artists 1984-2012

アジアの女性アーティスト展

2012年

9/1^{〔土〕} ⇒ 10/21^{〔日〕}

10:00-20:00(最終入場 19:30) 水曜日休館

会場：福岡アジア美術館 [企画ギャラリー]

主催：福岡アジア美術館／西日本新聞社／テレビ西日本

助成：芸術文化振興基金／ボラ美術振興財団

1 September – 21 October 2012
10:00-20:00 (last admission at 19:30)
Closed on Wednesdays

Venue Exhibition Gallery, Fukuoka Asian Art Museum
Organized by Fukuoka Asian Art Museum /
The Nishinippon Shimbun / Television Nishinippon Corporation
Assisted by Japan Arts Council / Pola Art Foundation



イースギョン 《翻訳された壺》(部分) 2009年／ Yeesoookyung Translated Vase (detail) 2009
Courtesy of OTA FINE ARTS



公益財団法人
ボラ美術振興財団
POLA ART FOUNDATION

アジアの女性アーティスト展

アジアをつなぐ—境界を生きる女たち 1984-2012

Women In-Between: Asian Women Artists 1984-2012

近年、アジアの女性アーティストを取り巻く状況は急激に変化しています。アジア諸国の経済発展やジェンダーに対する社会意識の高まりなどを背景に、時代のうねりは女性と社会、アジアと世界との関係に、今までにない構造的な変化をもたらしています。こうした状況下で、アジアの女性アーティストたちは何を感じ、どのような立場から、何を表現しようとしているのか。本展の狙いは、その軌跡をアジア美術が国際的な注目を集める前の1980年代から丹念にたどることにあります。

本展で紹介するのは、45人のアーティストによる約120点にのぼる作品で、この規模で開催されるアジアの女性アーティスト展は日本で初めてとなります。女性特有の問題を意識して作られた作品から、社会や歴史のなかで周縁化された人々、そして暴力や死などにまで広がる関心を凝縮した作品などが一堂に会し、会期中にはアーティストによるトーク、ワークショップ、パフォーマンス、上映会などのプログラムも開催します。

「アジア」「女性」「アート」の3つのキーワードが掛け合わされたところで生まれる作品から、創造的でポジティブな可能性をきくと感じていただけるに違いありません。

展覧会を構成する各テーマ

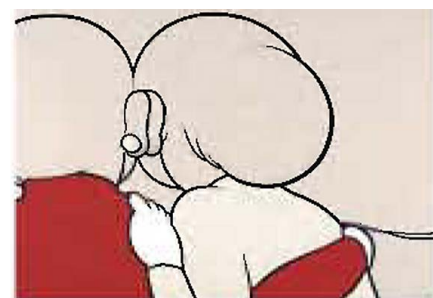
1. 女性の身体——繁殖・増殖、魅惑と暴力の場
2. 女性と社会
 - (1) 女性／男性の役割、女同士の絆
 - (2) ディアスポラ、周縁化された人々
3. 女性と歴史——戦争、暴力、死、記憶
4. 女性の技法、素材——「美術」の周縁
5. 女性の生活——ひとりからの出発

凡例：作家名(活動拠点)《作品名》制作年 所蔵

ジョン・ジョンヨブ / Jung Jungyob (韓国)
《睡》2013年 個人蔵



イ・イラン / Yi Ilan (マレーシア)
《スル—離島の物語—地図》2005年 所蔵：森美術館



町田久美 / Machida Kumi (東京)
《ことはき》2008年 個人蔵



グエン・ティ・チャウ・グエン / Nguyen Thi Chau Giang (ベトナム)
《わたしは誰》2012年



石川真生 / Ishikawa Mao (沖縄)
《フィリピン人ダンサー》1988-89年



井上廣子 / Inoue Hiroko (奈良/ドイツ)
《Matzi 森》2011-12年



ダグダサンプー・ウリンツヤ / Dagvambuu Uulintuya (モンゴル)
《わたしは風》2009年 所蔵：福岡アジア美術館



ナリニ・マウニ / Nafini Malsai (インド)
《暗きられた鼻》1993年 所蔵：福岡アジア美術館



進出千寿 / Shino Chiharu (ドイツ)
《Bathroom》1999年



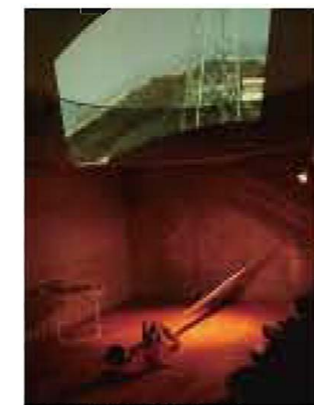
アルビタ・シン / Arpita Singh (インド)
《海辺》2004年 所蔵：グレンパル美術館



アマンダ・ヘン / Amanda Heng (シンガポール)
《もうひとりの女 No.2》1997年 所蔵：福岡アジア美術館



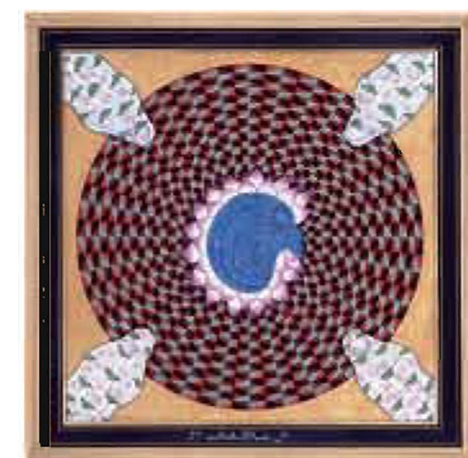
ツァオ・フエイ (曹斐) / Cao Fei (中国)
《夢人生》2011年



イトー・タリ / Ito Tari (東欧)
《放射線に色がまじりからいいのかもしれない...と深い溜息...をつく》



ニエ・レイ / Nygelay (ミャンマー)
《Relevancy of Restricted Things》2010年



アーシヤ・ハリード / Aisha Khalid (パキスタン)
《ビーナスの誕生》2001年 所蔵：福岡アジア美術館

イベントは随時更新中! 詳しくは、
<http://faam.city.fukuoka.lg.jp/>

◆ オープニング・イベント

① アーティスト・トーク

9月1日(土) 10:30-12:00 韓日の通訳付
ユン・ソクナム(韓国)、井上廣子、出光真子、阪田裕子
によるギャラリー・トーク。
場所：企画ギャラリー(7階)
入場には本展観覧券が必要になります

② イトー・タリのパフォーマンス

9月1日(土) 14:00-16:30 ※途中休憩30分
イトー・タリによる渾身の2つのパフォーマンス。《ひとつの
応答—ペボンギさんと数えきれない女たち—》、そして《放
射線に色がまじりからいいのかもしれない...と深い溜息...を
つく》。(各1時間程度)
場所：おじびホール(8階) 入場無料

◆ アーティスト・トーク

10月14日(日) 14:00-15:30 英日の通訳付
虐待や自然災害などでトラウマを抱えた人たちのために、フィ
リピン各地でワークショップをおこなってきたアルマ・キントの
トーク。ワークショップ、そしてアートの可能性とは。
場所：彫刻ラウンジ(7階) 入場無料

◆ おっぱい塔クッキング — Breast Stupa Cooking

10月21日(日)
10:00-12:00 ワークショップ(有料/事前申し込み)
12:30-13:30 アーティスト・トーク(無料/参加自由)
ピナリー・サンピタック(タイ)と一緒に、金属や陶器で作られ
た手のひらサイズのさまざまな乳房型の器を使って、彩りも鮮
やかな創作料理を作ります。
場所：BAAMカフェ(7階)
材料：お米や野菜など基本的な食材は用意していますが、調
理済み食材等の持ち込みも可能です(詳細は当館ウェブ
サイト参照)
定員：20人(要事前申込、先着順)
参加費：1,000円(材料費)
申込み方法：住所、氏名、電話番号、「おっぱい塔クッキ
ング参加希望」を記入し、当館まで(Fax: 092-263-1105 /
E-mail: women@faam-ajibi.jp)お申し込みください。

◇ 2012福岡舞台芸術シリーズ FFAC PLUS+ 山田うん ソロダンス「ディクタ」

10月18日(木) 18:30-19:40
韓国系アメリカ人女性アーティスト、テレス・ハッキョン・チャの自伝的
書物「ディクタ」から着想した、山田うんの生命力あふれるソロ最新作が
九州初上陸!
場所：彫刻ラウンジ 入場無料(要事前申込)
主催/申込み/問合せ先: Co. 山田うん
電話: 090-2912-0436 / E-mail: office.coyamadano@gmail.com
共催: (公財)福岡市文化芸術振興財団/福岡アジア美術館

◇ 公開コロキウム アジアのアートとジェンダー・システム

10月20日(土) 13:30-17:30
本展出品作家ら、アジアの女性アーティストの作品について語り、
そこから見える様々な問題を考えます。
場所：おじびホール(8階) 入場無料
主催：科学研究「社会システム(芸術)とその変容」
問合せ先(E-mail): uchiro@city.fukuoka.lg.jp(後小路雅弘)
共催：福岡アジア美術館